



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

令和6年度

笠野原国営施設機能保全事業  
水管理施設実施設計業務

# 積 算 書

(当初)

九州農政局  
南部九州土地改良調査管理事務所

事業名	笠野原国営施設機能保全事業
業務名	水管管理施設実施設計業務

事業名 筑野原園當設施機能保全事業  
業種名 水質測量設置機械50台業務









事業名	笠野原国営施設機能保全事業				
業務名	水管理施設実施設計業務				
業務別業務名:水管理施設実施設計業務					
名 称(規 格)	数 量	単 位	单 価	金 額	備 考
直接人件費				11,241,000	
・ 直接人件費	1.000	式		11,241,000	
・・ 直接人件費	1.000	式		11,241,000	
・・・ 設計作業費 準備作業	1.000	式	316,000	316,000	1 式当たり
S63007 現地調査及び管理状況調査	1.000	式	179,160	179,160	歩A・単A S単 19号
S63003 資料の検討	1.000	式	136,600	136,600	歩A・単A S単 1号
合 計				315,760	
・・・ 設計作業費 基本事項の検討	1.000	式	961,000	961,000	1 式当たり
S63003 水管理制御システム	1.000	式	237,280	237,280	歩A・単A S単 2号
S63003 管理対象地区の水管理体制	1.000	式	197,380	197,380	歩A・単A S単 3号
S63003 データ伝送方式及び伝送路	1.000	式	164,340	164,340	歩A・単A S単 4号
S63003 計測制御方式	1.000	式	197,380	197,380	歩A・単A S単 5号
S63003 中央管理体制システム	1.000	式	164,340	164,340	歩A・単A S単 6号
合 計				960,720	
・・・ 設計作業費 実施設計	1.000	式	3,630,000	3,630,000	1 式当たり
S63003 データ伝送方式及び伝送路	1.000	式	806,520	806,520	歩A・単A S単 7号
S63003 被管理施設	1.000	式	635,000	635,000	歩A・単A S単 8号
S63003 管理制御施設	1.000	式	896,460	896,460	歩A・単A S単 9号
S63003 受電設備	1.000	式	823,180	823,180	歩A・単A S単 10号
S63003 機器仕様	1.000	式	468,500	468,500	歩A・単A S単 11号
合 計				3,629,660	
・・・ 設計作業費 図面作成及び数量計算	1.000	式	2,649,000	2,649,000	1 式当たり
S63003 図面作成及び数量計算	1.000	式	2,648,980	2,648,980	歩A・単A S単 12号
合 計				2,648,980	
・・・ 設計作業費 概算工事費等の算定	1.000	式	743,000	743,000	1 式当たり
S63003 概算工事費等の算定	1.000	式	742,800	742,800	歩A・単A S単 13号
合 計				742,800	
・・・ 設計作業費 特別仕様書の作成	1.000	式	789,000	789,000	1 式当たり
S63003 特別仕様書の作成	1.000	式	789,000	789,000	歩A・単A S単 14号
合 計				789,000	
・・・ 設計作業費 施工計画	1.000	式	416,000	416,000	1 式当たり
S63003 施工計画	1.000	式	416,100	416,100	歩A・単A S単 15号
合 計				416,100	
・・・ 設計作業費 照査	1.000	式	130,000	130,000	1 式当たり
S63003 照査	1.000	式	129,600	129,600	歩A・単A S単 16号
合 計				129,600	





事業名	笠野原国営施設機能保全事業	数量	単位	単価	金額	備考
業務名	水管理施設実施設計業務					
業務別業務名:水管理施設実施設計業務						
コード	名 称(規 格)	数量	単位	単価	金額	備 考
S63003	*** S 単 - 1号 *** 資料の検討 設計労務(直接人件費内業)		式	136,600		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 2号 *** 水管理体制システム 設計労務(直接人件費内業)		式	237,280		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 3号 *** 管理対象地区の水管理制御方式 設計労務(直接人件費内業)		式	197,380		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 4号 *** データ伝送方式及び伝送路 設計労務(直接人件費内業)		式	164,340		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 5号 *** 計測制御方式 設計労務(直接人件費内業)		式	197,380		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 6号 *** 中央管理体制システム 設計労務(直接人件費内業)		式	164,340		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 7号 *** データ伝送方式及び伝送路 設計労務(直接人件費内業)		式	806,520		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 8号 *** 被管理施設 設計労務(直接人件費内業)		式	635,000		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 9号 *** 管理体制施設 設計労務(直接人件費内業)		式	896,460		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 10号 *** 受電設備 設計労務(直接人件費内業)		式	823,180		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 11号 *** 機器仕様 設計労務(直接人件費内業)		式	468,500		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 12号 *** 図面作成及び数量計算 設計労務(直接人件費内業)		式	2,648,980		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 13号 *** 概算工事費等の算定 設計労務(直接人件費内業)		式	742,800		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 14号 *** 特別仕様書の作成 設計労務(直接人件費内業)		式	789,000		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 15号 *** 施工計画 設計労務(直接人件費内業)		式	416,100		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 16号 *** 照査 設計労務(直接人件費内業)		式	129,600		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 17号 *** 点検とりまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	725,600		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 18号 *** 開示用成果物作成 設計労務(直接人件費内業)		式	16,800		歩A・単A
S63007	*** S 単 - 19号 *** 現地調査及び管理状況調査 設計労務(直接人件費外業)		式	179,160		歩A・単A
S63007	*** S 単 - 20号 *** 設計労務(直接人件費外業) 設計労務(直接人件費外業)		式	169,000		歩A・単A
S63010	*** S 単 - 21号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1,00人,1,00人,0,00人,0,00人,0,5日,0,78日		回	155,904		歩A・単A
S63010	*** S 単 - 22号 *** 打合せ(設計業務基準日額)					



事業名 笠野原国営施設機能保全事業

業務名 水管理施設実施設計業務

業務別業務名:水管理施設実施設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 1号 ***					
S63003	資料の検討		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師( A )	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師( B )	1.000	人	47,200	47,200	
	合 計				136,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		136,600	
	*** S 単 - 2号 ***					
S63003	水管理制御システム		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.60人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	1.30人				
	6)技師Cの人数	0.60人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.600	人	64,800	38,880	
R04004	技師( A )	2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師( B )	1.300	人	47,200	61,360	
R04006	技師( C )	0.600	人	38,400	23,040	
	合 計				237,280	算出数量 1.000 式
	単 価		式		237,280	
	*** S 単 - 3号 ***					
S63003	管理対象地区の水管管理制御方式		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.60人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.30人				
	5)技師Bの人数	1.30人				
	6)技師Cの人数	0.60人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.600	人	64,800	38,880	
R04004	技師( A )	1.300	人	57,000	74,100	
R04005	技師( B )	1.300	人	47,200	61,360	
R04006	技師( C )	0.600	人	38,400	23,040	
	合 計				197,380	算出数量 1.000 式
	単 価		式		197,380	
	*** S 単 - 4号 ***					
S63003	データ伝送方式及び伝送路		式		1,000	歩A 当たり算出

事業名 笠野原国営施設機能保全事業

業務名 水管理施設実施設計業務

業務別業務名:水管理施設実施設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	0.60人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	1.30人				
	5)技師Bの人数	0.60人				
	6)技師Cの人数	0.60人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.600	人	64,800	38,880	
R04004	技師( A )	1.300	人	57,000	74,100	
R04005	技師( B )	0.600	人	47,200	28,320	
R04006	技師( C )	0.600	人	38,400	23,040	
	合 計				164,340	算出数量 1.000 式
	単 価		式		164,340	
	*** S 単 - 5号 ***					
S63003	計測制御方式		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	0.60人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	1.30人				
	5)技師Bの人数	1.30人				
	6)技師Cの人数	0.60人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.600	人	64,800	38,880	
R04004	技師( A )	1.300	人	57,000	74,100	
R04005	技師( B )	1.300	人	47,200	61,360	
R04006	技師( C )	0.600	人	38,400	23,040	
	合 計				197,380	算出数量 1.000 式
	単 価		式		197,380	
	*** S 単 - 6号 ***					
S63003	中央管理体制システム		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	0.60人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	1.30人				
	5)技師Bの人数	0.60人				
	6)技師Cの人数	0.60人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.600	人	64,800	38,880	
R04004	技師( A )	1.300	人	57,000	74,100	
R04005	技師( B )	0.600	人	47,200	28,320	
R04006	技師( C )	0.600	人	38,400	23,040	
	合 計				164,340	算出数量 1.000 式
	単 価		式		164,340	
	*** S 単 - 7号 ***					
S63003	データ伝送方式及び伝送路		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
				冬期補正:なし	冬期補正:なし	

事業名 笠野原国営施設機能保全事業

業務名 水管理施設実施設計業務

業務別業務名:水管理施設実施設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.60人				
	5)技師Bの人数	3.60人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	5.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師( A )	4.600	人	57,000	262,200	
R04005	技師( B )	3.600	人	47,200	169,920	
R04006	技師( C )	2.000	人	38,400	76,800	
R04007	技術員	5.000	人	33,600	168,000	
	合 計				806,520	算出数量 1.000 式
	单 価		式		806,520	
	*** S 单 - 8号 ***					
S63003	被管理施設		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.60人				
	5)技師Bの人数	2.60人				
	6)技師Cの人数	1.30人				
	7)技術員の人数	2.10人				
R04003	主任技師	2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師( A )	4.600	人	57,000	262,200	
R04005	技師( B )	2.600	人	47,200	122,720	
R04006	技師( C )	1.300	人	38,400	49,920	
R04007	技術員	2.100	人	33,600	70,560	
	合 計				635,000	算出数量 1.000 式
	单 価		式		635,000	
	*** S 单 - 9号 ***					
S63003	管理制御施設		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	2.80人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	6.70人				
	5)技師Bの人数	4.80人				
	6)技師Cの人数	1.90人				
	7)技術員の人数	1.00人				
R04003	主任技師	2.800	人	64,800	181,440	
R04004	技師( A )	6.700	人	57,000	381,900	
R04005	技師( B )	4.800	人	47,200	226,560	
R04006	技師( C )	1.900	人	38,400	72,960	
R04007	技術員	1.000	人	33,600	33,600	
	合 計				896,460	算出数量 1.000 式
	单 価		式		896,460	
	*** S 单 - 10号 ***					

事業名 笠野原国営施設機能保全事業

業務名 水管理施設実施設計業務

業務別業務名:水管理施設実施設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
S63003	受電設備		式		1,000	歩A 式当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	6.30人				
	5)技師Bの人数	4.60人				
	6)技師Cの人数	1.60人				
	7)技術員の人数	0.70人				
R04003	主任技師	2.500	人	64,800	162,000	
R04004	技師(A)	6.300	人	57,000	359,100	
R04005	技師(B)	4.600	人	47,200	217,120	
R04006	技師(C)	1.600	人	38,400	61,440	
R04007	技術員	0.700	人	33,600	23,520	
	合計				823,180	算出数量 1.000 式
	単価		式		823,180	
	*** S 単 - 11号 ***					
S63003	機器仕様		式		1,000	歩A 式当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.30人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.30人				
	5)技師Bの人数	2.60人				
	6)技師Cの人数	1.30人				
	7)技術員の人数	0.70人				
R04003	主任技師	1.300	人	64,800	84,240	
R04004	技師(A)	3.300	人	57,000	188,100	
R04005	技師(B)	2.600	人	47,200	122,720	
R04006	技師(C)	1.300	人	38,400	49,920	
R04007	技術員	0.700	人	33,600	23,520	
	合計				468,500	算出数量 1.000 式
	単価		式		468,500	
	*** S 単 - 12号 ***					
S63003	図面作成及び数量計算		式		1,000	歩A 式当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	7.30人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	10.10人				
	5)技師Bの人数	11.50人				
	6)技師Cの人数	15.20人				
	7)技術員の人数	14.10人				
R04003	主任技師	7.300	人	64,800	473,040	
R04004	技師(A)	10.100	人	57,000	575,700	
R04005	技師(B)	11.500	人	47,200	542,800	
R04006	技師(C)	15.200	人	38,400	583,680	
R04007	技術員	14.100	人	33,600	473,760	
	合計				2,648,980	算出数量 1.000 式
	単価		式		2,648,980	

事業名 笠野原国営施設機能保全事業

業務名 水管理施設実施設計業務

業務別業務名:水管理施設実施設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S 単 - 13号 ***					
S63003	概算工事費等の算定		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	1.80人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師 A の人数	3.60人				
	5)技師 B の人数	4.20人				
	6)技師 C の人数	3.00人				
	7)技術員の人数	3.20人				
R04003	主任技師	1.800	人	64,800	116,640	
R04004	技師 ( A )	3.600	人	57,000	205,200	
R04005	技師 ( B )	4.200	人	47,200	198,240	
R04006	技師 ( C )	3.000	人	38,400	115,200	
R04007	技術員	3.200	人	33,600	107,520	
	合 計				742,800	1.000 式 算出数量
	単 価		式		742,800	
	*** S 単 - 14号 ***					
S63003	特別仕様書の作成		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師 A の人数	4.60人				
	5)技師 B の人数	3.30人				
	6)技師 C の人数	2.00人				
	7)技術員の人数	4.90人				
R04003	主任技師	2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師 ( A )	4.600	人	57,000	262,200	
R04005	技師 ( B )	3.300	人	47,200	155,760	
R04006	技師 ( C )	2.000	人	38,400	76,800	
R04007	技術員	4.900	人	33,600	164,640	
	合 計				789,000	1.000 式 算出数量
	単 価		式		789,000	
	*** S 単 - 15号 ***					
S63003	施工計画		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	1.80人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師 A の人数	2.10人				
	5)技師 B の人数	2.10人				
	6)技師 C の人数	2.10人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	1.800	人	64,800	116,640	
R04004	技師 ( A )	2.100	人	57,000	119,700	
R04005	技師 ( B )	2.100	人	47,200	99,120	
R04006	技師 ( C )	2.100	人	38,400	80,640	
	合 計				416,100	1.000 式 算出数量

事業名 笠野原国営施設機能保全事業

業務名 水管理施設実施設計業務

業務別業務名:水管理施設実施設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		式		416,100	
	*** S 单 - 16号 ***					
S63003	照査 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 式当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	2.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	0.00人 0.00人		深夜時間:0.0		
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	64,800	129,600	
	合 計				129,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		129,600	
	*** S 单 - 17号 ***					
S63003	点検とりまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 式当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	1.50人 4.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	3.50人 3.50人		深夜時間:0.0		
	7)技術員の人数	3.00人				
R04003	主任技師	1.500	人	64,800	97,200	
R04004	技師 ( A )	4.000	人	57,000	228,000	
R04005	技師 ( B )	3.500	人	47,200	165,200	
R04006	技師 ( C )	3.500	人	38,400	134,400	
R04007	技術員	3.000	人	33,600	100,800	
	合 計				725,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		725,600	
	*** S 单 - 18号 ***					
S63003	開示用成果物作成 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 式当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	0.00人 0.00人		深夜時間:0.0		
	7)技術員の人数	0.50人				
R04007	技術員	0.500	人	33,600	16,800	
	合 計				16,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		16,800	
	*** S 单 - 19号 ***					
S63007	現地調査及び管理状況調査 設計労務(直接人件費外業)		式		1,000	歩A 式当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	

事業名	笠野原国営施設機能保全事業					
業務名	水管理施設実施設計業務					
業務別業務名:水管理施設実施設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	单 価	金 額	備 考
	3)主任技師の人数	1.80人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.60人				
	5)技師Bの人数	0.60人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業		1.800	人	64,800	116,640
R04004	技師(A) 外業		0.600	人	57,000	34,200
R04005	技師(B) 外業		0.600	人	47,200	28,320
	合 計					算出数量 179,160 1.000 式
	单 価			式	179,160	
	*** S 单 - 20号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)			式	1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0
	1)主任技術者の人数	0.00人			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	冬期補正:なし 超勤時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業		1.000	人	64,800	64,800
R04004	技師(A) 外業		1.000	人	57,000	57,000
R04005	技師(B) 外業		1.000	人	47,200	47,200
	合 計					算出数量 169,000 1.000 式
	单 価			式	169,000	
	*** S 单 - 21号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)			回	1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種、着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.78				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0
	日				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	冬期補正:なし 超勤時間:0.0
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.780日				
R04003	主任技師		1.280	人	64,800	82,944
R04004	技師(A)		1.280	人	57,000	72,960
	合 計					算出数量 155,904 1.000 回
	单 価			回	155,904	
	*** S 单 - 22号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)			回	1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種、中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.78日				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0
	1)設計工種	一般工種			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	冬期補正:なし 超勤時間:0.0
	2)打合せ	中間				
	3)設計用主任技師人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.780日				
R04004	技師(A)		1.280	人	57,000	72,960

事業名	笠野原国営施設機能保全事業					
業務名	水管理施設実施設計業務					
業務別業務名:水管理施設実施設計業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
R04005	技師( B )	1.280	人	47,200	60,416	
	合 計				133,376	算出数量 1.000 回
	単 価		回		133,376	
	*** S 単 - 23号 ***					
S63011	打合せ( 設計旅費・交通費 )		回		1.000	歩A 当たり算出
	打合せ( 設計旅費・交通費 ) 一般工種、着手前・最終、通勤により打合せ、ライトバン、1日、4時 間、100km L ( 100km以上 )			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種 着手前・最終		深夜時間:0.0		
	3)主任技師配置人員 4)技師 A 配置人員 5)技師 B 配置人員 6)技師 C 配置人員	1人 1人 0人 0人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.50日 0.78日				
	9)宿泊区分 12)交通機関区分	通勤により打合せ ライトバン				
	13)高速道路往復料金( 税別 ) 14)鉄道往復1人当料金( 税別 )	7,980円 0円				
	15)バス往復1人当料金( 税別 ) 16)船舶往復1人当料金( 税別 )	0円 0円				
	17)航空往復1人当料金( 税別 ) 18)ライトバン使用日数	0円 1日				
	19)時間区分 20)往復移動距離区分	4時間 100km L ( 100km以上 )				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き		1.000	式	7,980	7,980
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L		1.000	日	1,960	1,960
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド		10.800	L	162	1,750
	合 計				11,690	算出数量 1.000 回
	単 価		回		11,690	
	*** S 単 - 24号 ***					
S63011	打合せ( 設計旅費・交通費 )		回		1.000	歩A 当たり算出
	打合せ( 設計旅費・交通費 ) 一般工種、中間、通勤により打合せ、ライトバン、1日、4時間、100km L ( 100km以上 )			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種 中間		深夜時間:0.0		
	3)主任技師配置人員 4)技師 A 配置人員 5)技師 B 配置人員 6)技師 C 配置人員	0人 1人 1人 0人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.50日 0.78日				
	9)宿泊区分 12)交通機関区分	通勤により打合せ ライトバン				
	13)高速道路往復料金( 税別 ) 14)鉄道往復1人当料金( 税別 )	7,980円 0円				
	15)バス往復1人当料金( 税別 ) 16)船舶往復1人当料金( 税別 )	0円 0円				
	17)航空往復1人当料金( 税別 ) 18)ライトバン使用日数	0円 1日				
	19)時間区分 20)往復移動距離区分	4時間 100km L ( 100km以上 )				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き		1.000	式	7,980	7,980
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L		1.000	日	1,960	1,960
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド		10.800	L	162	1,750
	合 計				11,690	算出数量 1.000 回
	単 価		回		11,690	
	*** S 単 - 25号 ***					



令和6年度 笠野原国営施設機能保全事業  
水管理施設実施設計業務

特別仕様書

九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所

## 第1章 総 則

### 第1－1条（適用範囲）

令和6年度 笠野原国営施設機能保全事業 水管理施設実施設計業務の施行に当たっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

### 第1－2条（目的）

本業務は、国営笠野原土地改良事業計画に基づき笠野原地区の水管理体制御施設の更新のための実施設計を行うものである。

### 第1－3条（場 所）

本業務において対象とする水管理体制御施設は、鹿児島県鹿屋市及び肝属郡肝付町地内で、別添1の笠野原地区水管理施設位置図に示すとおりである。

### 第1－4条（一般事項）

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- 1 作業実施順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- 2 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- 3 調査予定範囲については、事前に監督職員との打合せを行い、承諾を得るものとする。
- 4 作業実施のための土地の立入り等は、共通仕様書第1-16条土地の立入り等によるが、土地の踏み荒らし、立木伐採等に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。なお、現地立ち入りに当たっては、監督職員と連絡を取った後、作業に着手するものとする。
- 5 受注者は、常に業務内容を把握し、業務期間中であっても監督職員が資料の提出を求めたときは、速やかにこれに応じるものとする。

### 第1－5条（低入札価格契約における第三者照査）

- 1 予算決算及び会計令（以下、「予決令」という。）第85条の基準に基づく価格（以下、「調査基準価格」という。）を下回る価格で契約した場合においては、受注者は「業務請負契約書第11条照査技術者」及び「共通仕様書第1-7条照査技術者及び照査の実施」については、受注者が自ら行う照査とは別に、受注者の責任において共通仕様書等を基本とする第三者の照査（以下、「第三者照査」という。）を実施しなければならない。

#### 2 第三者の企業に要求される資格

- (1) 予決令第98条において準用する予決令第70条及び第71条の規定に該当しないこと。
- (2) 九州農政局において、令和5、6年度（当該業種区分）の一般競争（指名競争）参加資格の受付において申請を行い受理されている者で、開札時までに認定を受けていること。
- (3) 九州農政局長から、建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 共通仕様書第1-30条守秘義務を遵守できること。
- (5) 中立的、公平な立場で照査が可能な者であること。なお、第三者照査を実施するものは受注者との関係において、以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。
  - ① 資本関係
    - ア 親会社と子会社の関係にある
    - イ 親会社と同じくする子会社同士の関係にある
  - ② 人的関係一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている

### 3 第三者照査を行う照査技術者に要求される資格

第三者照査を行う照査技術者は、受注者が配置する照査技術者と同等の能力と経験を有する以下のものであること。

- (1) 照査技術者と同等の同種又は類似業務実績を有する者
- (2) 照査技術者と同等の技術者資格を有する者

### 4 照査技術者の通知

受注者は、自ら行う照査の他に、第三者照査を行う照査技術者を定め発注者に通知するものとする。

### 5 照査計画

受注者は、第三者の照査方法については、自ら行う照査とあわせて業務計画書に照査計画として、具体的な照査時期、照査事項等を定めなければならない。

また、照査結果及び照査状況については、その都度監督職員に報告しなければならない。

### 6 報告書原稿作成段階時打合せへの立会い

特別仕様書第4-1条に示す打合せのうち、報告書原稿作成段階での打合せ時には、第三者照査を行う照査技術者も立ち会うものとする。

### 7 第三者照査の照査技術者 AGRIS 登録

共通仕様書第1-12条業務実績データの作成及び登録に当たっては、第三者照査を行った照査技術者の実績登録は認めない。

### 8 契約不適合責任

引き渡された成果物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないものであるときは、業務請負契約書第41条契約不適合責任のとおり、受注者に対し、成果物の修補又は代替物の引渡しによる履行の追完を請求することが出来るものであり、第三者照査を実施したものが責任を負うものではない。

## 第1-6条（履行確実性評価の達成状況の確認）

本業務の受注に当たり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時までに提出されない場合には以降の提出を受け入れず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- 1 審査項目a)～c)において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- 2 審査項目d)において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- 3 その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- 4 業務成果品のミス、不備等

## 第1-7条（管理技術者）

- 1 管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	電気電子－電子応用 電気電子－情報通信 農業－農業土木 農業－農業農村工学
	電気電子	電子応用、情報通信

	農業	農業土木、農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	電気電子	
	農業土木	

2 調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、管理技術者は億台で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

### 第1－8条（照査技術者）

1 照査技術者は、共通仕様書第1-7条第2項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	電気電子－電子応用 電気電子－情報通信 農業－農業土木 農業－農業農村工学
	電気電子	電子応用、情報通信
	農業	農業土木、農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	電気電子	
	農業土木	

2 共通仕様書第1-7条第4項でいう、監督職員が指示する業務の節目は次のとおりとする。

- (1) 準備作業時（業務計画作成時）
- (2) 基本事項の把握・検討時
- (3) 実施設計の詳細検討時
- (4) 特別仕様書、設計図等作成時
- (5) その他、照査計画作成時において監督職員が指示した場合

3 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

### 第1－9条（担当技術者）

担当技術者は、共通仕様書第1-8条によるものとする。

### 第1－10条（技術者情報の登録）

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録に当たっては、次によるものとする。

- 1 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- 2 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

### 第1－11条（保険加入）

受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示し

なければならない。

## 第2章 作業条件

### 第2－1条（適用する図書）

設計の基本事項に関しては、次の技術基準等を優先して適用するものとする。なお、他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を得るものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
1	水管理制御方式技術指針 (計画設計編)	(一社)農業土木機械化協会	平成 25 年 3 月
2	水管理制御施設標準機器仕様書	農林水産省農村振興局設計課	平成 25 年度
3	電気設備計画設計技術指針 (高低圧編)	農林水産省農村振興局設計課	令和元年 9 月

### 第2－2条（設計条件）

設計作業における設計基本条件は、次のとおりである。

#### 1 更新対象施設の基本諸元

本業務の対象施設等の基本諸元は、別添2の笠野原地区水管理システム構成図及び別添3の笠野原地区水管理施設一覧表のとおりである。

#### 2 設備導入の目的

耐用年数を超過し老朽化した設備の更新による水管理施設機能の確保及び維持管理の低減を目的とする。

#### 3 通年営農

本業務の対象地域では、年間を通じて茶やキャベツ、花き類等の栽培が行われていることから、常に水管理制御施設等は供用中である。

#### 4 管理方法

管理方法について、現在、高隈ダム管理所と三角管理所に分かれている管理系統を高隈ダム管理所に一元化する計画である。

### 第2－3条（参考図書）

本業務の参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるものとする。

### 第2－4条（貸与資料等）

本業務における貸与資料は、次のとおりである。

番号	貸 与 資 料	数量
1	国営笠野原地区事業誌	1式
2	令和3年度国営施設応急対策事業 笠野原地区施設機能長寿命化計画策定その他業務	1式
3	関係施設の完成図書	1式
4	防災情報ネットワーク事業関係資料	1式
5	令和5年度笠野原地区水管理施設概略設計業務	1式

また、上記以外で必要な資料がある場合は、監督職員と協議するものとする。

### 第2－5条（参考図書及び貸与資料の取扱い）

特別仕様書第2－3条、第2－4条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- 1 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- 2 参考図書は、作業時点の最新版を用いることとし、作業中に改訂された場合は、監督職員と協議するものとする。
- 3 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

### 第3章 作業内容

#### 第3－1条（作業項目及び数量）

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は別表1「設計作業項目内訳表」に示すものとする。

作業項目	数量	備考
1. 準備作業	1式	
2. 基本事項の検討	1式	
3. 実施設計	1式	
4. 図面作成及び数量計算	1式	
5. 概算工事費等の算定	1式	
6. 特別仕様書の作成	1式	
7. 施工計画	1式	
8. 照査	1式	
9. 点検とりまとめ	1式	

#### 第3－2条（設計作業の留意点）

設計作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- 1 設計に当たっては、造成される施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- 2 検討に当たっては、既設の水管理体制等について施設管理者へ現況施設の管理状況や問題点等について問診調査を行い、調査結果を踏まえた検討を行うこととする。
- 3 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- 4 特別仕様書第2－3条、第2－4条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- 5 施工上特に注意する点を特記する必要がある場合には、設計図面に記入するものとする。
- 6 当該業務で実施するコスト縮減対策の検討作業に関し、検討の視点、施策の提案内容及び比較検討の過程や結果等の成果については、報告書中に「コスト縮減対策」の章を別途設定し、とりまとめるものとする。なお、コスト縮減に関して新技術や新工法等の選定に当たっては、農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）及び新技術情報システム（NETIS）等を積極的に活用しなければならない。
  - (1) 農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）については、  
<https://www.nn-techinfo.jp> を参照。
  - (2) 新技術情報システム（NETIS）は、  
<http://www.netis.mlit.go.jp/NetisRev/NewIndex.asp> を参照。

7 数量計算に当たっては、「土地改良工事数量算出要領（案）（施設機械工事）」に基づき行うものとし、それ以外については、監督職員と協議するものとする。

なお、「土地改良工事数量算出要領（案）（施設機械工事）」については、  
<http://www.maff.go.jp/nousui/seko/suryo/>を参照。

また、工種や用語については、「工事工種の体系化」に基づき作成するものとし、「工事工種の体系化」に該当しない工種や用語については、監督職員と協議するものとする。

なお、「工事工種の体系化」については、  
[http://www.maff.go.jp/nousin/seko/kouzi\\_kousyu/](http://www.maff.go.jp/nousin/seko/kouzi_kousyu/)を参照。

### 第3－3条（業務の成果品質確保対策）

契約後業務着手時、最終打合せ時において、受発注者間の設計方針、条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、管理技術者等の受注者代表は、次の事項及び「業務の成果品質確保対策」（農林水産省WEBサイト）を十分に理解の上、対応するものとする。

#### 1 業務確認会議

業務着手時に管理技術者・担当技術者並びに事業所長、次長、担当課長、主任監督員（主催）、監督員、工事担当者が、設計方針、条件等の確認を一堂に会して実施することにより、業務の円滑な推進と成果物の品質確保を図るものとする。

（1）業務確認会議とは、発注者及び受注者が集まり、次の事項について確認を行う会議を開催するものである。なお、確認事項については、変更する場合がある。

- ① 設計条件・前提条件
- ② 業務計画の妥当性
- ③ スケジュール
- ④ 設計変更内容
- ⑤ その他（事業間連携、資材選定チェック、コスト縮減、環境対策等の促進等）

（2）会議の開催については、監督職員が指示するものとする。なお、開催時期の変更、開催回数の追加が必要な場合は、監督職員と協議するものとし、規定の打合せ時以外に開催する場合の費用については、必要に応じ設計変更で計上する。

#### 2 照査の確実な実施

業務の最終打合せ時において、成果物のうち照査報告書については、照査を実施した照査技術者自身による報告を原則とする。

また、最終打合せ時以外にあっても、必要に応じて、照査技術者自身からの照査報告を実施できるものとする。

3 当該業務成果における工事発注の際に、別途工事の受発注者が当該工事に対する「工事の施工効率向上対策」（農林水産省WEBサイト）による工事円滑化会議及び設計変更確認会議を開催することとしており、同会議に出席要請があった場合には応じるものとする。なお、出席に必要な経費については、別途契約により対応することとする。

4 業務確認会議後において確認した事項については、打合せ記録簿を記録し、相互に確認するものとする。

### 第3－4条（業務写真における黒板情報の電子化）

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得た上で、黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の1から4によりこれを実施するものとする。

#### 1 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべ

き暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」

(URL 「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」) に記載する基準を用いた信憑性確認機能(改ざん検知機能)を有するものと使用するものとする。

## 2 機器等の導入

- (1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- (2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

## 3 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- (1) 受注者は、1の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- (2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領(案)」によるものとする。なお、上記(1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領(案) 6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
- (3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

## 4 写真の納品

受注者は、3に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。なお、受注者は納品時に

URL(<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>)のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

## 5 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

## 第4章 打合せ

### 第4-1条(打合せ)

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

- |     |                         |
|-----|-------------------------|
| 初回  | 作業着手の段階                 |
| 第2回 | 中間打合せ(基本事項の把握・検討段階)     |
| 第3回 | 中間打合せ(実施設計の詳細検討段階)      |
| 第4回 | 中間打合せ(特別仕様書及び設計図書等検討段階) |
| 最終回 | 報告書原稿作成段階               |

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立会の上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程表等の管理状況を報告しなければならない。

## 第5章 成果物

### 第5-1条(成果物)

成果物を共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- 1 成果物の電子媒体 (CD-R 若しくは DVD-R) 正副 2 部
- 2 成果物の出力 1 部 (電子媒体の出力、市販のファイル綴じて可)

#### **第5－2条（開示用成果物の作成及び提出）**

特別仕様書第5－1条に記載している成果物 (PDF ファイル) に含まれる、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」における「不開示情報」に該当する情報について、システムの編集機能により、その箇所を黒塗りにする措置を行い提出しなければならない。

- 1 開示用成果物の電子媒体 (CD-R 若しくは DVD-R) 1 部

#### **第5－3条（成果物の提出先）**

成果物の提出先は、次のとおりとする。

鹿児島県鹿屋市西原4丁目5番1号 鹿屋合同庁舎  
九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所 鹿児島支所

### **第6章 契約変更**

#### **第6－1条（契約変更）**

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- 1 第2－2条に示す「設計条件」に変更が生じた場合
- 2 第3－1条に示す「作業内容及び数量」に変更が生じた場合
- 3 第4－1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合
- 4 第5－1条に示す「成果物」に変更が生じた場合
- 5 履行期間の変更が生じた場合
- 6 関係機関等対外的協議等により設計計画等に変更が生じた場合
- 7 その他

### **第7章 定めなき事項**

#### **第7－1条（定めなき事項）**

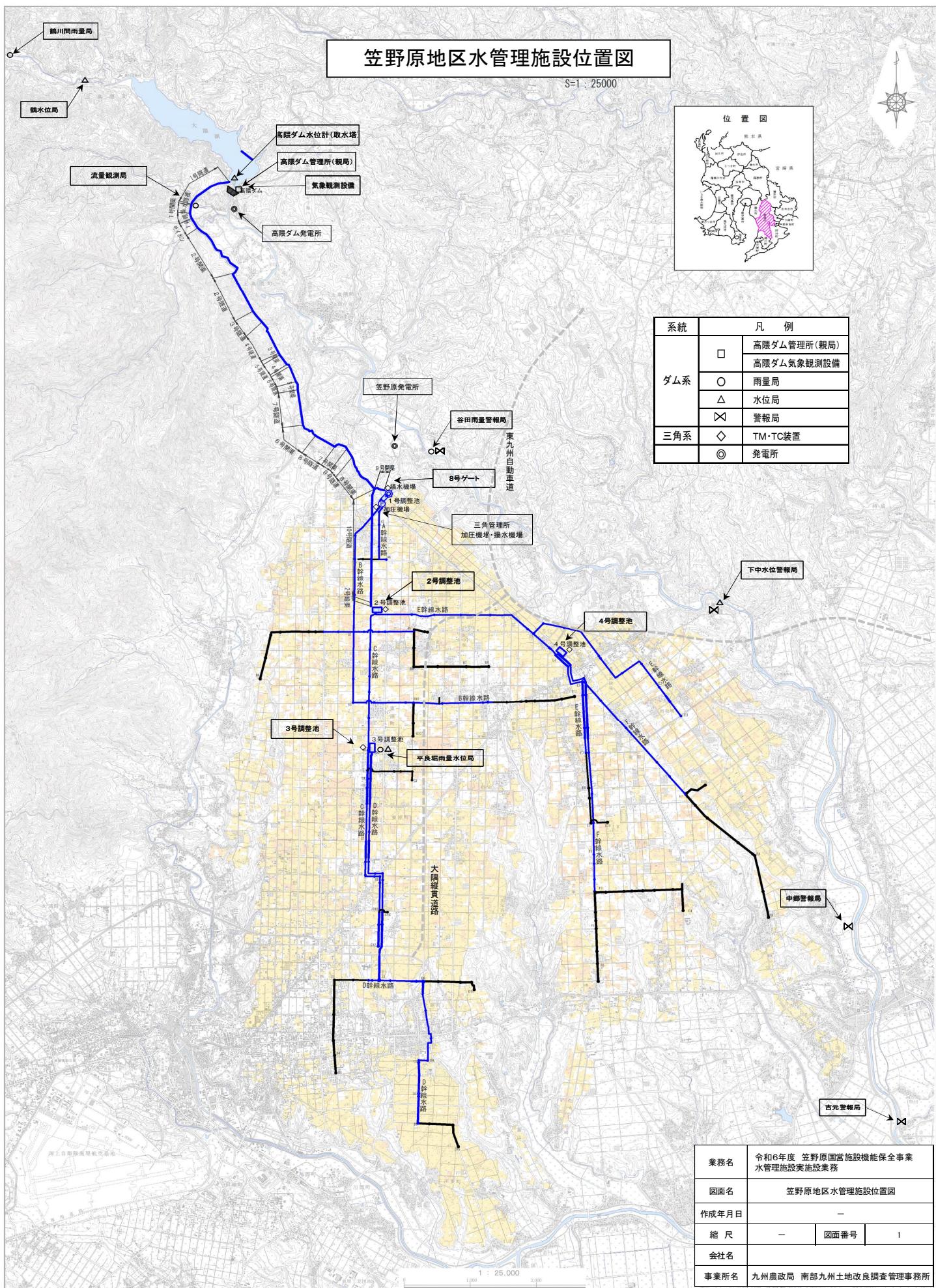
この特別仕様書に定めなき事項または本業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別表1

## 【設計作業項目内訳書】

作業項目	作業内容	対象数量	
		単位	数量
1. 準備作業			
1-1. 現地調査及び管理状況調査	笠野原地区水管理施設概略設計業務（以下「概略設計」という。）の報告書を基に、管理対象地区について現地調査を行うとともに、施設管理者に現状の管理状況に関する問診調査を行う。	式	1
1-2. 資料の検討	概略設計の報告書を基に、現況の水管理システム完成図書や貸与資料、現地調査及び管理状況調査に基づき、検討に必要な各種資料のとりまとめを行う。	式	1
2. 基本事項の検討	概略設計にて検討した項目の基本事項について検討を行う。		
2-1. 水管理制御システム	概略設計にて検討した項目の基本事項について検討を行う。	式	1
2-2. 管理対象地区的水管理制御方式	主要施設操作の信頼性、応答性、安全性、省力化等を考慮した操作制御方式の検討を行う。	式	1
2-3. データ伝送方式及び伝送路	データ信号、操作信号等の最適な伝送方式、伝送システム、管理対象地区に適合する伝送路、機器相互の信号受渡し方式、サーバー対策等の検討を行う。特に自営線区間における誘導雷対策等に留意する。	式	1
2-4. 計測制御方式	現況設置対象構造物の構造形式や設置環境、農業用水の流況を考慮して水位、流量、開度等の計測方式と適用機器を決定し、管理対象地区に適用する制御方式等の検討を行う。	式	1
2-5. 中央管理制御システム	高隈ダム管理所及び三角管理所の親局システムの構成、収集データと遠方制御項目の選定、データの表示、処理、記録方式、操作卓及び表示装置の構成、寸法、機器相互の信号受渡し方式等の検討を行う。なお、現況建屋を有効利用した検討を行う。	式	1
3. 実施設計	概略設計にて検討した項目について実施設計を行う。		
3-1. データ伝送方式及び伝送路	管理対象地区的伝送方式、局構成と装置、伝送路等の詳細検討を行い決定する。	式	1
3-2. 被管理施設	管理対象地区的個々の操作方式、計測方式と検出器、既設機器の改造等の詳細検討を行い決定する。	式	1
3-3. 管理制御施設	高隈ダム管理所及び三角管理所の設置機器、操作室レイアウトについて、システム停止期間の短縮と施工切替に配慮した詳細検討を行い決定する。	式	1
3-4. 受電設備	高隈ダム管理所、加圧機場、揚水機場の受配電設備の内、水管理設備に給電を行う設備について、必要な資料を収集し、詳細検討を行い決定する。	式	1
3-5. 機器仕様	設置機器の仕様について詳細検討を行い決定する。	式	1
4. 図面作成及び数量計算	工事施工に必要な図面作成及び詳細数量計算を行う。なお、図面は、施工位置図、計画一般平面図、システム構成図、機器配置図、配線図、配線系統図、計装フロ	式	1

	<p>ム構成図、機器配置図、配線図、配線系統図、計装フローネット図、単線結線図、仮設図、その他必要な図面を作成する。</p> <p>また、概略設計で作成した資料を含め最終版として整理する。</p>		
5．概算工事費等の算定	設置機器リストの作成、機器費、概算工事費等の作成を行う。 なお、概略設計の資料を含め最終版として整理する。	式	1
6．特別仕様書の作成	管理対象地区に適応する制御方式、装置の機能と数量を明示した特別仕様書の作成を行う。	式	1
7．施工計画	供用中の施設であることを考慮した施工工程及び施工計画の作成を行う。	式	1
8．照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	式	1
9．点検とりまとめ	各作業項目の成果物の点検、とりまとめ及び報告書の作成を行う。	式	1

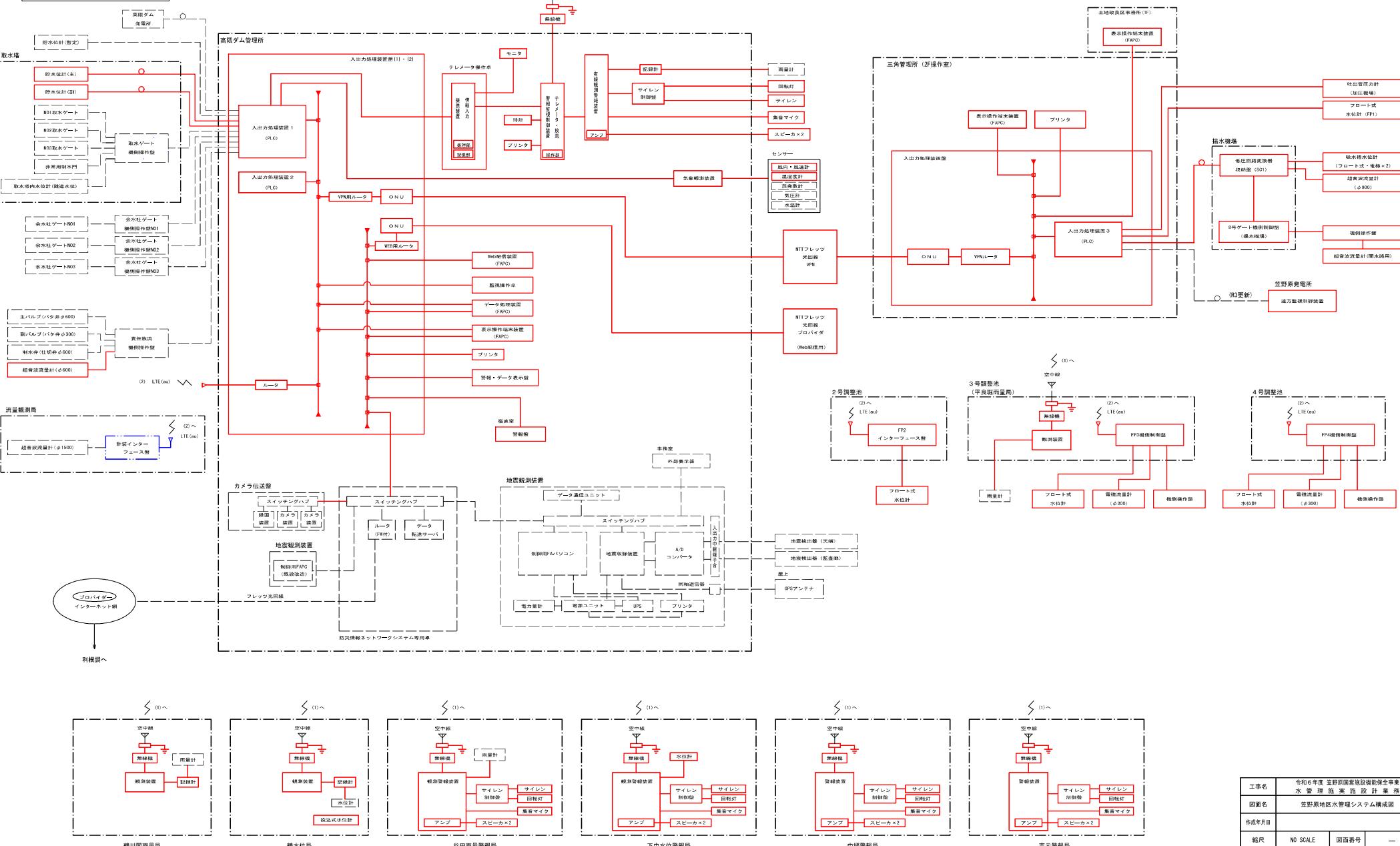


笠野原地区水管理システム構成図

### 【今回施工対象】

凡例

— — [ ]	: 別途
— — [ ]	: 改造
— — [ ]	: 更新



工事名	令和6年度 瓢箪野園芸場設樹機保全事業 水管理施実施設計業務		
図面名	瓢箪野原地区水管理システム構成図		
作成年月日			
縮尺	NO SCALE	図面番号	一
会社名			
事務所名	九州農政局 南九州土地改良農業管理事務所		

### 笠野原地区水管理施設一覧表

No	名 称	材質・規格・仕様	数量	単位	備 考
<b>【高隈ダム管理所】</b>					
	ダム管理用制御処理設備				
1	入出力処理装置 I・II	屋内自立鋼板製 実装器含む	1	式	
2	監視操作卓	タッチパネルモニター付デスク盤	1	式	
3	Web配信装置	FA-PC、モニタ、キーボード含む	1	式	OA卓
4	データ処理装置	FA-PC、モニタ、キーボード含む	1	式	OA卓
5	表示操作端末装置	FA-PC、モニタ、キーボード含む	1	式	OA卓
6	レーザープリント	A3カラー対応、置台含む	1	式	
7	警報・データ表示盤	屋内壁掛鋼板製	1	式	
8	警報盤	宿直室用 プザー装置	1	式	
9	貯水位計(主)	水研62型、変換器・収納版含む	1	式	取水塔
10	貯水位計(副)	水晶式、保護管・変換器・収納版含む	1	式	取水塔
11	超音波流量計	Φ600	1	式	監査廊責任放流機側操作盤内
	テレメータ・放流警報設備				
12	テレメータ・放流警報制御監視装置	屋内自立型鋼板製 無線機含む	1	式	
13	有線観測警報装置	屋内自立型鋼板製 アンプ含む	1	式	
14	テレメータ操作卓	FA-PC、モニタ、キーボード含む 情報入力提供装置含む	1	式	
15	時計装置	FMアンテナ付き	1	式	
16	レーザープリント	A3カラー対応、置台含む	1	式	
17	同軸避雷器	400MHz帯用	1	式	
18	サイレン制御盤	屋内壁掛鋼板製	1	式	
19	モータサイレン	7.5kW 架台含む	1	式	
20	回転灯	LEDタイプ Φ100程度	1	式	
21	スピーカ	レフレックスホーン 70W	2	式	
22	集音マイク	防鳥ネット付	1	式	
23	雨量計(アナログ記録器)	長期自記記録型	1	式	
	観測設備				
24	気象観測装置		1	式	
25	気温・湿度計		1	式	
26	風向風速計		1	式	
	電源設備				
27	耐雷トランス	5KVA	1	式	
28	管理設備用分電盤	屋内壁掛鋼板製	1	式	
29	UPS	3KVA	1	式	
30	電灯分電盤	建築設備	1	式	
31	SPD盤	屋内壁掛鋼板製	1	式	
32	動力配電盤	屋内自立鋼板製	1	式	
33	電灯配電盤	屋内自立鋼板製	1	式	
	ダム管理用制御処理設備ソフトウェア				
34	データ処理装置用		1	式	
35	表示操作端末用		1	式	
36	入出力処理装置 I・II用		1	式	
37	Web配信装置用		1	式	
	<b>【鶴川間雨量局】</b>				
38	観測装置	2量型	1	式	
39	無線機	70Mhz帯	1	式	
40	同軸避雷器	70Mhz帯用	1	式	
41	雨量計(アナログ記録器)	長期自記記録型	1	式	
42	耐雷トランス	0.5KVA	1	式	
43	直流電源装置	MSE50Ah 屋内自立型鋼板製	1	式	蓄電池実装
	<b>【鶴水位局】</b>				
44	観測装置	2量型	1	式	
45	無線機	400Mhz帯	1	式	

## 笠野原地区水管理施設一覧表

No	名 称	材質・規格・仕様	数量	単位	備 考
46	同軸避雷器	400Mhz帯用	1	式	
47	水位計(アナログ記録器)		1	式	
48	投込式水位計		1	式	
49	耐雷トランス	0.5KVA	1	式	
50	直流電源装置	MSE100Ah	1	式	蓄電池実装
	【谷田雨量警報局】				
51	観測警報装置	2量型、アンプ100W含む	1	式	
52	無線機	70Mhz帯	1	式	
53	同軸避雷器	70Mhz帯用	1	式	
54	サイレン制御盤	屋内壁掛鋼板製	1	式	
55	モータサイレン	7.5kW 架台含む	1	式	
56	回転灯	LEDタイプ φ100程度	1	式	
57	スピーカ	レフレックスホーン 70W	2	式	
58	集音マイク	防鳥ネット付	1	式	
59	耐雷トランス	1.0KVA	1	式	
60	直流電源装置	MSE100Ah	1	式	蓄電池実装
	【下中水位警報局】				
61	観測警報装置	2量型、アンプ100W含む	1	式	
62	無線機	70Mhz帯	1	式	
63	同軸避雷器	70Mhz帯用	1	式	
64	サイレン制御盤	屋内壁掛鋼板製	1	式	
65	モータサイレン	7.5kW 架台含む	1	式	
66	回転灯	LEDタイプ φ100程度	1	式	
67	スピーカ	レフレックスホーン 70W	2	式	
68	集音マイク	防鳥ネット付	1	式	
69	フロート式水位計	水研62型、変換器・収納版含む	1	式	
70	耐雷トランス	1.0KVA	1	式	
71	直流電源装置	MSE150Ah	1	式	蓄電池実装
	【中郷警報局】				
72	警報装置	アンプ100W含む	1	式	
73	無線機	70Mhz帯	1	式	
74	同軸避雷器	70Mhz帯用	1	式	
75	サイレン制御盤	屋内壁掛鋼板製	1	式	
76	モータサイレン	7.5kW 架台含む	1	式	
77	回転灯	LEDタイプ φ100程度	1	式	
78	スピーカ	レフレックスホーン 70W	2	式	
79	集音マイク	防鳥ネット付	1	式	
80	耐雷トランス	1.0KVA	1	式	
81	直流電源装置	MSE100Ah	1	式	蓄電池実装
	【吉元警報局】				
82	警報装置	アンプ100W含む	1	式	
83	無線機	70Mhz帯	1	式	
84	同軸避雷器	70Mhz帯用	1	式	
85	サイレン制御盤	屋内壁掛鋼板製	1	式	
86	モータサイレン	7.5kW 架台含む	1	式	
87	回転灯	LEDタイプ φ100程度	1	式	
88	スピーカ	レフレックスホーン 70W	2	式	
89	集音マイク	防鳥ネット付	1	式	
90	耐雷トランス	1.0KVA	1	式	
91	直流電源装置	MSE100Ah	1	式	蓄電池実装
	【流量観測局】				
92	流量観測TM盤	伝送回線部改造(LTEルーター・PLC通信ユニット)	1	式	計装インターフェイス盤

### 笠野原地区水管理施設一覧表

No	名 称	材質・規格・仕様	数量	単位	備 考
<b>【三角管理所】</b>					
	水管理用制御処理設備				
93	入出力処理装置盤	屋内自立鋼板製 実装器含む	1	式	
94	表示操作端末装置	FA-PC、モニタ、キーボード含む	1	式	OA卓
95	表示操作端末装置(事務所1F)	FA-PC、モニタ、キーボード含む	1	式	OA卓
96	レーザープリント	A3カラー対応、置台含む	1	式	
	ソフトウェア				
97	表示操作端末用		1	式	
	電源設備				
98	管理設備用分電盤	屋内壁掛鋼板製	1	式	
99	UPS	1KVA	1	式	
100	SPD盤	屋内壁掛鋼板製	1	式	
<b>【三角管理所(加圧機場)】</b>					
101	吐出管圧力計		1	式	
102	フロート式水位計(FP1)		1	式	
103	低圧電磁制御盤		1	式	
104	直流電源盤		1	式	
<b>【揚水機場(8号ゲート)】</b>					
105	低圧回路変換器収納盤(SC1)	屋内自立鋼板製	1	式	
106	吸水槽水位計	フロート式	1	式	
107	吸水槽水位計	電極式	2	式	
108	超音波流量計	φ 900、2測線	1	式	
109	8号ゲート機側制御盤	屋内壁掛形鋼板製	1	式	揚水機場建屋内
110	8号ゲート機側操作盤	屋外スタンド形SUS製	1	式	
111	超音波流量計	開水路用	1	式	
112	低圧電磁制御盤		1	式	
113	直流電源盤		1	式	
<b>【笠野原発電所】</b>					
114	遠方監視制御装置盤	屋内自立鋼板製	1	式	
<b>【2号調整池】</b>					
115	インターフェイス盤	屋内スタンド形鋼板製 LTEモデム含む	1	式	
116	フロート式水位計		1	式	
<b>【3号調整池(平良堀雨量局)】</b>					
117	機側制御盤	屋内自立鋼板製 LTEモデム含む	1	式	
118	フロート式水位計		1	式	
119	電磁流量計	φ 300	1	式	
120	機側操作盤	屋外スタンド形SUS製	1	式	
121	観測装置	2量型	1	式	
122	無線機	70Mhz帯	1	式	
123	同軸避雷器	70Mhz帶用	1	式	
124	耐雷トランス	0.5KVA	1	式	
125	直流電源装置	MSE50Ah	1	式	蓄電池実装
<b>【4号調整池】</b>					
126	機側制御盤	屋内自立鋼板製 LTEモデム含む	1	式	
127	フロート式水位計		1	式	
128	電磁流量計	φ 300	1	式	
129	機側操作盤	屋外スタンド形SUS製	1	式	